

香川高等専門学校			電子情報通信工学専攻（一般教育科）				開講年度		平成28年度（2016年度）						
学科到達目標															
A-A 技術者としての責任を自覚し，人類の福祉に貢献できる倫理観を身に付ける。															
B-D 技術者としての基礎知識を身につけ，高度な関連技術を修得し，広い視野を持って技術の発展に対応できるようになる。															
C-E 与えられた課題を達成する手段を設計し，粘り強く問題解決に取り組むことができるようになる。															
D-B 日本語及び英語で共同作業を良好に行うことができる。															
D-C 情報機器を活用して情報収集や情報分析，文書作成，口頭発表ができるようになる。															
D-F 運動能力の維持向上に努め，規律正しい団体行動がとれるようになる。															
科目区分		授業科目	科目番号	単位種別	単位数	学年別週当授業時数								担当教員	履修上の区分
						専1年				専2年					
						前		後		前		後			
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
教養	必修	コミュニケーション英語Ⅰ（前期課程）	0001	学修単位	1	1								森 和憲	
教養	必修	コミュニケーション英語Ⅰ（後期課程）	0002	学修単位	1			1						森 和憲	
工学基礎	必修	技術者倫理	0003	学修単位	2	2								山岡 健次郎 内田 由理子	
工学基礎	選択	応用数学特論	0004	学修単位	2	2								橋本 竜太	
工学基礎	選択	物理科学特論	0006	学修単位	2			2						黒木 経秀 野村 大輔	
教養	必修	コミュニケーション英語Ⅱ（前期課程）	0001	学修単位	1					1				出淵 幹郎	
教養	必修	コミュニケーション英語Ⅱ（後期課程）	0002	学修単位	1							1		出淵 幹郎	

香川高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	コミュニケーション英語 I (前期課程)	
科目基礎情報							
科目番号	0001		科目区分		教養 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 1		
開設学科	電子情報通信工学専攻 (一般教育科)		対象学年		専1		
開設期	前期		週時間数		1		
教科書/教材	鹿野晴夫『1日10分英語回路育成計画超音読レッスン日本紹介編』(IBCパブリッシング)『TOEICテスト これだけ英単語 新基準スコア600』(Newton Press) 宮野智靖『新TOEICテスト 文法問題は20秒で解ける!』(アスク)						
担当教員	森 和憲						
到達目標							
本科目は、将来的に受講生が就職を希望する企業から求められる英語運用能力を身につけるために、その基礎力を養うことを目標としている。							
ループリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 語彙・文法能力		コミュニケーション能力の基礎となる英単語・英文法を身につける。		コミュニケーション能力に必要最低限の英単語・英文法を身につける。		コミュニケーション能力に必要最低限の英単語・英文法を身につけていない。	
評価項目2 読む能力		外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語を辞書無しで読むことができる。		外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語を辞書があれば読むことができる。		外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語を辞書があっても読むことができる。	
評価項目3 書く能力		辞書やひな形、機械翻訳を利用して、自分の専門分野に関してプレゼンテーションの原稿およびスライドを作成することができる。		辞書やひな形、機械翻訳を利用して、自分の専門分野に関してプレゼンテーションの原稿およびスライドを英語教員の補助があれば作成することができる。		辞書やひな形、機械翻訳を利用して、自分の専門分野に関してプレゼンテーションの原稿およびスライドを英語教員の補助があっても作成することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法		1.教科書の音読演習を通して発音と聞く力および書く力を養う 2.演習問題を解くことで語彙や文法を習得する 3. プレゼンテーションの方法論を学習する 4. タスク中心の基礎英会話をを行い、話す力を養う					
注意点		授業時間の3分の2以上の出席が必要である。 定期試験の点数に次のTOEICスコアに応じた係数を乗ずる。 スコア380以上1, 360以上380未満0.9, 340以上360未満0.8,340未満0.7					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	教科書：No.1 スライド：ガイダンス・チーム決め テーマ決定 日本語作成の説明 英語への翻訳説明				
		2週	教科書：No.2 スライド：日本語作成／スライド構成				
		3週	教科書：No.3 スライド：第1回日本語提出				
		4週	教科書：No.4 スライド：日本語訂正				
		5週	教科書：No.5 スライド：第2回日本語提出／英語に直す				
		6週	教科書：No.6 スライド：英語に直す				
		7週	教科書：No.7 スライド：第1回英語提出				
		8週	教科書：No.8 スライド：英語を訂正				
	2ndQ	9週	TOEIC受験				
		10週	教科書：No.9 スライド：第2回英語提出				
		11週	教科書：No.10 スライド：音声配布／音声指導				
		12週	教科書：No.11 スライド：発表練習				
		13週	教科書：No.12 スライド：発表練習				
		14週	教科書：No.13 スライド：発表練習				
		15週	発表				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	20	0	0	0	30	100
基礎的能力	50	0	0	0	0	30	80
専門的能力	0	20	0	0	0	0	20
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

香川高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	コミュニケーション英語Ⅰ (後期課程)	
科目基礎情報							
科目番号	0002			科目区分	教養 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	電子情報通信工学専攻 (一般教育科)			対象学年	専1		
開設期	後期			週時間数	1		
教科書/教材	鹿野晴夫 『1日10分英語回路育成計画超音読レッスン日本紹介編』 (IBC/パブリッシング) 『TOEICテスト これだけ英単語 新基準スコア600』 (Newton Press) 宮野智靖『新TOEICテスト 文法問題は20秒で解ける!』 (アスク)						
担当教員	森 和憲						
到達目標							
本科目は、将来的に受講生が就職を希望する企業から求められる英語運用能力を身につけるために、その基礎力を養うことを目標としている。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 語彙・文法能力	コミュニケーション能力の基礎となる英単語・英文法を身につける。			コミュニケーション能力に必要最低限の英単語・英文法を身につける。		コミュニケーション能力に必要最低限の英単語・英文法を身につけていない。	
評価項目2 読む能力	外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語を辞書無しで読むことができる。			外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語を辞書があれば読むことができる。		外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語を辞書があっても読むことができる。	
評価項目3 書く能力	辞書やひな形、機械翻訳を利用して、自分の専門分野に関してプレゼンテーションの原稿およびスライドを作成することができる。			辞書やひな形、機械翻訳を利用して、自分の専門分野に関してプレゼンテーションの原稿およびスライドを英語教員の補助があれば作成することができる。		辞書やひな形、機械翻訳を利用して、自分の専門分野に関してプレゼンテーションの原稿およびスライドを英語教員の補助があっても作成することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法	1.教科書の音読演習を通して発音と聞く力および書く力を養う 2.演習問題を解くことで語彙や文法を習得する 3.プレゼンテーションの方法論を学習する 4.タスク中心の基礎英会話をを行い、話す力を養う						
注意点	授業時間の3分の2以上の出席が必要である。 定期試験の点数に次のTOEICスコアに応じた係数を乗ずる。 スコア380以上1, 360以上380未満0.9, 340以上360未満0.8,340未満0.7						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	20	0	0	0	30	100
基礎的能力	50	0	0	0	0	30	80
専門的能力	0	20	0	0	0	0	20
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

香川高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	技術者倫理	
科目基礎情報							
科目番号	0003		科目区分		工学基礎 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	電子情報通信工学専攻（一般教育科）		対象学年		専1		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	『はじめての技術者倫理』（北原義典著、講談社）						
担当教員	山岡 健次郎,内田 由理子						
到達目標							
1. 技術者として身につけるべき倫理規定, 法, 規約等を理解する。 2. 専門職の役割には責任や義務の伴うこと, その影響が自然や社会に及ぶことを, 実際に生じた事例を通して学習する。 3. 技術の使命が人々の生活の向上や社会的貢献にあり, 環境への配慮や世代間倫理の確認を通して, 技術者としての倫理的責任を自覚し, 考える習慣を身につける。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	倫理規定などの知識を身につけ、現実に応用できる。		倫理規定などの知識が身についている。		倫理規定などの知識が十分に身についていない。		
評価項目2	事例を通して、技術者の責任や義務を把握し、主体的に考察できる。		事例を通して技術者の責任や義務を把握できている。		技術者の負うべき義務や責任について十分に理解していない。		
評価項目3	社会における技術者の役割を十分に認識し、責任ある行動を取ることができる。		社会の中での技術者の役割を十分に認識している。		社会の中での技術者の役割があまり理解できていない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	教科書, 資料によって主に講義形式で授業を進めるが, 工学倫理について理解を深めるために, 討議を行い, レポート提出も課す。事例研究では, 各自が事例を調査, 分析し, 発表する。また応用倫理として, 生命, 環境, ビジネス, 情報についての倫理の理解を進める。						
授業の進め方・方法	教科書, 資料によって主に講義形式で授業を進めるが, 工学倫理について理解を深めるために, 討議を行い, レポート提出も課す。事例研究では, 各自が事例を調査, 分析し, 発表する。						
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	技術者倫理とは		技術者倫理教育について学ぶ。		
		2週	工学の倫理概念		倫理概念、工学の倫理概念について学ぶ。		
		3週	倫理綱領		倫理綱領から技術者が社会に対して負う責任を学ぶ。		
		4週	ビジネス倫理		企業の社会的責任について学ぶ。		
		5週	製造物責任		製造物責任について学ぶ。		
		6週	知的財産		知的財産について学ぶ。		
		7週	事故調査（1）		事例を通して何が問題であるかを学ぶ。		
		8週	事故調査（2）		事例を通して何が問題であるかを学ぶ。		
	2ndQ	9週	事故調査（3）		事例を通して何が問題であるかを学ぶ。		
		10週	事故調査（4）		事例を通して何が問題であるかを学ぶ。		
		11週	内部告発		技術者の組織・雇用者への忠誠と不服従・内部告発について学ぶ。		
		12週	企業秘密		転職のモラル及び守秘義務と公衆の福利について、技術者に求められるべきことを学ぶ。		
		13週	安全性と設計		安全とリスクに関して技術者が心がけるべきことを学ぶ。		
		14週	社会制度とモラル		社会制度を視野に入れた技術者のあり方について学ぶ。		
		15週	施工・工程管理・維持管理		技術者の公正中立の責任について学ぶ。		
		16週	前期期末試験		内容の理解度を確認する。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	20	0	0	10	0	100
基礎的能力	70	20	0	0	10	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0